

公益財団法人 全国商業高等学校協会主催・文部科学省後援

第51回 ビジネス文書実務検定試験 (26. 6. 29)

第3級

速度部門問題

(制限時間10分)

試験委員の指示があるまで、下の事項を読みなさい。

〔書式設定〕

- a. 1行の文字数を30字に設定すること。
- b. プロポーショナルフォントは使用しないこと。

〔注意事項〕

1. ヘッダーに左寄せで受験級、試験場校名、受験番号を入力すること。
2. 問題のとおり、すべて全角文字で入力すること。
3. 長音は必ず長音記号を用いること。
4. 入力したものの訂正や、適語の選択などの操作は、制限時間内に行うこと。
5. 問題は、文の区切りに句読点を用いているが、句点に代えてピリオドを、読点に代えてコンマを使用することができる。ただし、句点とピリオド、あるいは、読点とコンマを混用することはできない。混用した場合はエラーとする。
6. 時間が余っても、問題文を繰り返し入力しないこと。

第51回 ビジネス文書実務検定試験 (26. 6. 29)

第3級 速度部門問題 (制限時間10分)

新しい機能を備えた文具が、次々に売り出されている。その一つ	30
が、消せるボールペンだ。専用の部品でこすると簡単に消え、書き	60
直しが可能で使いやすいと人気がある。例えば、予定を記入する際	90
に使える、変更があってもきれいに修正ができる。	114
このペンには、温度に反応して色が変化する特別なインクが使用	144
されている。こすった時に発生した熱が60度以上になると、無色	174
に変化して文字が消えたように見える。反対に、冷凍庫で冷やすこ	204
とで元に戻せる。	213
ただし、この便利な機能は注意して使う必要がある。高温の場所	243
に放置すると消えてしまうので、書類やあて名を書くためには使用	273
することができない。用途を踏まえ、目的別に上手に使い分けてい	303
きたいものだ。	310